

# 喜 望

1977年5月第28号(毎月1回1日発行)

発行所 喜 望 の 家

〒557 大阪市西成区萩之茶屋2-8-18

電話 (06)632-1310

郵便振替 大 阪 95205

編集兼 重 野 信 之  
発行人

購読料 1部25円1年分(〒共)900円



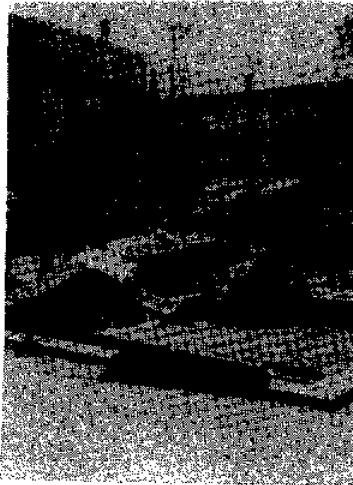
## 代執行の日に

キリストが十字架上で死んだのち、彼の教えを信じていた者たちは悲嘆のどん底にあった。

ふたりの弟子が悲しみつつ道を歩いていると、一人の未知の旅人が仲間に加わり、一行はエマオという村に着いた。もう日も暮れていたので弟子たちは、この不思議な旅人を食事にもまねき、今夜は一緒にお泊りくださいとすすめる。

パンをわけあっているうちに弟子たちは、旅人が死からよみがえったキリストであることに気づいた。(ルカ二四13〜31)

失業と病にあえぐ人たちに炊き出しが行われていた仏現寺公園のテント村は、昭和五十二年四月七日、大阪市の代執行によって封鎖された。ああ、……。



## 目 次

- ◇ 日本の精神風土 .....河島亀三郎 (2)
- ◇ 西成ベビーセンターのこと .....岡崎美智子 (3)
- ◇ 山王子ども会 .....重野 了子 (4)
- ◇ 釜ヶ崎と私 .....俺川れい子 (6)
- ◇ 釜ヶ崎への道 .....小野 誠 (7)
- ◇ シベリヤ抑留記 .....蟹江 文雄 (9)
- ◇ この道は ..... E・ストローム (10)
- ◇ ポエミー .....石原小夜子 (11)
- ◇ 釜ヶ崎通信 .....重野 信之 (12)